



興和江守株式会社

シンガポール支店

支店長 松村 欣宣 さん

グローバルな仕事って、どんな仕事？県内企業の海外事務所で働く駐在員のライフスタイルを紹介する連載企画。第2回は商社「興和江守」のシンガポール支店に勤務する松村欣宣さんにお話を伺いました。

Q・現在勤務しているシンガポールについて教えてください。

東南アジアに位置する熱帯気候の国で、面積は福井市と同程度です。税制上の様々な優遇措置があることから、約7千社の海外企業が拠点を置き、県内企業の支店や関連先も多くあります。国民一人あたりのGDPは日本を上回り、名実ともに「東南アジア市場のハブ」としての地位を確立しつつあります。

当社の支店は観光地として有名なマリーライオンの近くにあり、日本人社員は私を含む2名で、ほかに現地スタッフが3名勤務しています。

Q・普段はどのような仕事をしていますか？

当社の主力事業であるエレクトロニクス関連とケミカル関連の商材を扱っています。具体的にはスマホや

家電製品向け電子部品の材料、洗剤の原料などが中心です。シンガポールを拠点にマレーシア、ベトナム、インドなどのお客様やサプライヤーを訪問し商談を行っています。最近ではコロナの影響により、チャットで連絡を取ることが多く、担当者が一定の裁量を持っているため決裁のスピードが速いです。

Q・シンガポールで日本を感じることはありますか？

国際色豊かな国であり日本人コミュニティも多く存在します。現地の人は新しいものに敏感で、コロナ以前は日本の居酒屋や寿司店、牛丼チェーンなどは行列ができるほどの人気でした。私も県民代表として地酒や食をPRしていますので、シンガポール市場に興味がある方のお手伝いができればと考えています。

Q・休日の過ごし方は？

家族と一緒に赴任していて、これまでは観光地を旅行したり、現地の食事を楽しんだりしていましたので、早期のコロナ収束に期待します。シンガポールは物価が高いことで有

名ですが、ホーカーという屋台村では安くおいしい地元料理が食べられるのでおすすめです。また、現地ではソフトボールチームのキャプテンを務め、チームの内外で交流を深めています。

Q・最後に、海外で働く魅力について教えてください。

私自身、もともと地元志向が強く、海外で働くことなど想像もしていませんでした。しかし現在は、様々な国の方と仕事をさせて頂く中で、文化の違いや考え方を学ぶ機会が増え、国内での勤務時とは違った経験ができています。日本は確かに先進国ですが、世界には優秀でユニークな国が多くあります。海外で働くチャンスがあればぜひ挑戦してほしいと思います。



ソフトボールチームのメンバーと一緒に